



『たべものこうじょう』

ねらい

- ・ メモを見て作業することに慣れる。
- ・ 写真を見て同じように作ることができる。
- ・ 不足するものがあったら伝えることができる。
- ・ 終わりの報告ができる。

使い方

ケースのふたの写真を見て、ケースの中のパーツを組み立てる。足りないものがあったら伝える（報告しやすいものを2～3こ抜いておく）作業が終わったら報告する。



『マーク探しをしよう』

ねらい

自力通学をしている生徒に日常的に目にするマークや標識の意味するところを知らせ、生活にいかせるようにする。

使い方

- ①マーク、標識カードを生徒に全部呈示しておき、写真の中から同じ物を探し、どんなことを意味するカードか確かめる。
- ②標識のマークの意味を書いたカードを音読させ、どの標識やマークが対応させる。



『ストローを束ねよう』

ねらい

- ・ メモを見て作業することに慣れる。
- ・ 10の数のまとまりをつくる。
- ・ 両手指の巧緻性、操作性を高める。
- ・ 終わりや過不足の報告の定着を図る。

使い方

- ①ストローをまず色別に分け、同じ色のストローを10本ずつ手にとる。
- ②その日に呈示された（輪ゴム、結束バンド、モール）で束ねる
- ③作業が終了したら報告し、同時に過不足があったら伝える。



『分刻みの時計の読み方』

ねらい

数直線の1目盛りが「1」の区分であることを知り、時計の分刻みの読み取りへ結びつけていく。

使い方

- ①数直線の1目盛りに1～10のマグネットを置く。
- ②曲線の1目盛りに1～10のマグネットを置き、時計の目盛へと結び付けていく。
- ③分刻みの読み取りを時計やカードの対応等で理解を深めていく。



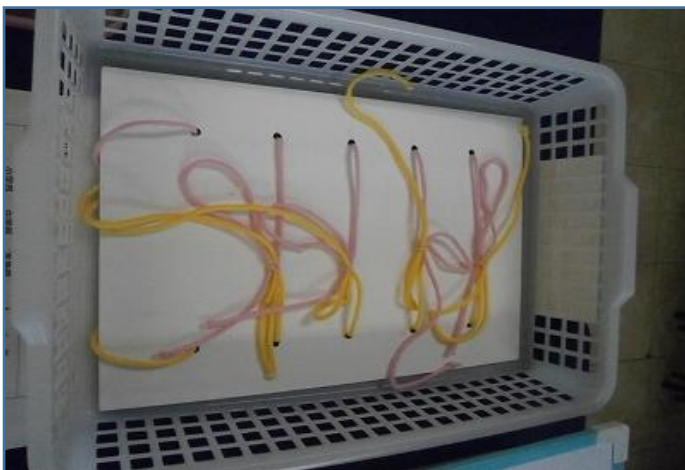
『指示書を読み袋詰めしよう』

ねらい

- ①指示書を見て、中身をそろえることができるようになる。
- ②ひもでビニール袋をとめることができるようになる。

使い方

指示書通りにセットする。



『ちょうちょう結び』

ねらい

ひも（ちょうちょう結び）ができるようになる。

使い方

- ①むすびをとる時は毛玉を持つ。
 - ②輪をつくる時は、こぶになっているところを持つ。
- ・はじめは一緒に進めていき、どこに通すの



『袋詰め・数唱』

ねらい

数が数えられない子のための課題。数字を目で見て確認し、袋詰めする2つの作業を1つにまとめてできる課題。文字、数字を読むことにも使用している。

使い方

使っている物と個数を書き、一度読む。その後その指示に従って袋に個数入れる。1つ1つ数に置いていく。袋に入れたらはりがねでとめる。個数によっては長く集中できる時間を養う。



『名詞の分類』

ねらい

概念を広げる。

使い方

ちがう絵でもグループ分けする。



『かさねばこ』

ねらい

- ・ 大きさを知る
- ・ 入れる、出すの動作
- ・ 1～10を並べる

使い方

子どもの実態に応じていろいろと使えます。



『マッチング教材』

ねらい

- ・ 視覚イメージから感情を言葉で表すことにつながる。（きっかけとして）

使い方

文字カードが貼られている場所に同じイラストカードを貼っていく。